

平成23年度日本小児外科学会
第4回定例理事会議事録

日 時：平成23年10月26日（火） 10:00～15:50

会 場：大阪国際交流センター 会議室D

出席者：田口智章（理事長）、仁尾正記（副理事長）、上野 滋（理事・会長）、岩中 督（理事・副会長）、濱田吉則、葦澤融司、前田貢作、北川博昭、窪田正幸、松藤 凡（以上理事）、窪田昭男、土岐 彰（以上監事）、小室広昭（庶務委員長）、吉澤穰治（財務会計委員長）、家入里志、平川 均（以上庶務委員）、村上 聡、堀口裕輔（以上事務局）

欠席者：橋本 俊（監事）、菱木知郎（庶務副委員長）、渡井 有（財務会計副委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第4回定例理事会の議事録署名人は、濱田吉則 理事、松藤 凡 理事とした。
2. 平成23年度第3回定例理事会議事録につき、次回理事会日程の確認についても、議事録に掲載していくべきとの提案があり、承認された。
以上をもって、平成23年度第3回定例理事会議事録が承認された。

3. 報告事項

1) 理事長報告

田口理事長より以下の報告があり、了承された。

- (1) 厚生労働省からの冊子「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 283」を受領した。
- (2) 日本医師会からの通信文「第64回日本医師会設立記念医学大会開催案内」を受領した。
- (3) 日本専門医制評価・認定機構からの冊子「日本専門医制評価・認定機構ニュース」を受領した。
- (4) 日本小児科医会からの寄贈本「日本小児科医会会報 No. 41」を受領した。
- (5) 日本小児科医会からの冊子「日本小児科医会ニュース No. 52」を受領した。
- (6) 乳幼児精神保健学会からのポスター「乳幼児精神保健学会特別セミナー開催案内」を受領した。
- (7) 乳幼児精神保健学会からの通信文「乳幼児精神保健学会第14回大会開催案内」を受領した。
- (8) 静岡県立大学からのポスター「第16回静岡健康・長寿学術フォーラム開催案内」を受領した。
- (9) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY Vol. 41No. 10」を受領した。
- (10) 日本外科学会からの通信文「選挙によらない代議員の制度の廃止のおしらせ」につき、岩中理事より、説明があり、了承された。
- (11) 最高裁判所からの寄贈本「裁判の迅速化に係る検証に関する報告書（概況編）」を受領した。

- (12) 日本医療安全調査機構からの通信文&冊子「診療行為に関連した死亡の調査分析事業協力関係学会代表者説明会 会議資料&議事録」につき、葦澤理事より資料に基づき、日本医療安全調査機構が一般社団法人化したこと、および基幹学会への加入申込案内がなされていることにつき、報告があり、了承された。
- (13) 日本医学会からの冊子「日本医学会だより No. 46」を受領した。
- (14) 日本製薬工業会からの通信文「第 23 回日本製薬工業会政策セミナー開催案内」を受領した。
- (15) 日本小児麻酔学会からの通信文「日本小児麻酔学会 委嘱評議員推薦依頼について」、田口理事長より、葦澤理事および前田理事が継続して就任いただけることが報告され、了承された。
- (16) 臓器移植関連学会協議会について、前回の第 3 回理事会で報告した内容の資料を受領した。
- (17) 専門医の在り方に関する検討会について、田口理事長より、資料に基づき、報告があり、了承された。
- (18) 小児がん専門委員会・がん対策推進協議会について、田口理事長より、資料に基づき、当該委員会が小児がん対策推進に関する概算要求が厚生労働省へ提出していることが報告された。
- (19) 小児がん認定外科医について、田口理事長より、資料に基づき認定状況が報告され、了承された。
- (20) 小児がん長期ケア事業について、田口理事長より、資料に基づき、報告があり、了承された。
- (21) 日本周産期・新生児医学会 周産期専門医制度規則について、田口理事長より、資料に基づき、報告がなされ、第 2 章第 8 条第 2 項の条文から「日本小児外科学会」の文言を除くべきとの意見があり、継続審議となった。

4 審議事項

1) 第49回学術集会について（上野会長）

上野会長より、機関誌第47巻第7号へ掲載する第3次会告の資料を基に、プログラムの説明があり、承認された。

2) 第50回学術集会について（岩中副会長）

岩中副会長より、第50回学術集会については、前回理事会からの追加事項はない旨、報告された。

3) 第 27 回秋季シンポジウムについて（窪田会長）

窪田会長より、2011 年 10 月 29 日朝 7 時からセッション開始となり、活発な意見交換の場としていきたい旨の挨拶がなされた。

4) 庶務委員会（小室庶務委員長）

小室庶務委員長より会員動向について、以下の報告があり、承認された。

平成 23 年 9 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,849 名（うち海外 4 名）、評議員 293 名、名誉会員 57 名（うち海外 9 名）、特別会員 58 名（うち海外 1 名）の合計

2,257名である。

5) 財務会計委員会（吉澤委員長）

吉澤委員長より会員統合システムの費用につき、仕様の修正に伴い、見積額が変更される可能性があり、現在 NTT-PC に再見積依頼中である旨、報告された。

6) 各種委員会報告および審議事項

(1) 機関誌委員会報告

北川担当理事より、以下の通り報告・提案され、承認された。

- ・学会誌刊行センターへ通知する業務委託契約解除告知（案）が提案され、承認された。
- ・機関誌刊行業務委託先を学会誌刊行センターから中西印刷へ移行する際の、委託範囲につき、編集・印刷業務までを依頼し、発送業務は従来通り学会支援機構へ委託していくことが提案され、承認された。
- ・上野理事より、PSI-Japanese Issue について、学会 HP へ掲載していくことが提案され、承認された。北川理事より国際・広報委員会へ掲載依頼をすることとなった。

(2) 国際・広報委員会

田口理事長より以下の通り報告され、承認された。

- ・WOFAPS **Executive** Committee Meeting への出席依頼につき、今回は出席できない旨、連絡した。
- ・学会ホームページへのバナー広告設置依頼があり、契約することとした。
- ・学会ホームページ更新については、各委員会がそれぞれ担当となるページのチェックをし、随時進めて行くこととした。
- ・小児外科医の発展途上国支援について、カンボジア国立病院での小児外科研修コースの設置の経緯を紹介していく案が提起され、継続審議事項となった。

(3) 保険診療委員会

窪田担当理事より以下の通り報告され、承認された。

- ・日本外科学会保険診療委員会から「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬の開発要望募集」の依頼があり、オメガペン（フレゼニウス ガービ ジャパン株式会社）を要望した。
- ・大塚製薬工場と扶桑薬品工業から「小児外科領域における 20mL 注射剤の必要性に関する意見書のお願い」があった旨、資料に基き、説明された。審議の結果、学会として意見書を提出することが承認された。

(4) 教育委員会

松藤担当理事より卒後教育セミナー第 28 回・第 29 回・第 30 回のプログラムたたき台

が提案され、承認された。ただし、第 30 回の講師選定については、次期教育委員会が担当であるため、プログラムたたき台の内容だけを承認することとした。

(5) 悪性腫瘍委員会報告

前田担当理事より以下の通り報告された。

- ・第 1 回小児がん認定外科医の申請は 39 件あり、全員認定される予定である。
- ・次期追跡調査（2001-2005 年新規登録症例の 5 年後調査）については、各委員の分担が決定し、2012 年 8 月までに各地区の入力を終了後、解析を行う予定である。

(6) 学術・先進医療検討委員会報告

濱田担当理事より以下の通り報告され、承認された。

- ・ビデオライブラリーについては、ホームページの会員ページに動画閲覧サイトへのリンクを作り、そこから学術・先進医療検討委員会や教育委員会のページに飛んで、各担当のビデオが閲覧できるようにしていく旨、提案され、承認された。
- ・全国規模の学術アンケート調査に関する規定について、以下内容の修正の提案があり、承認された。また、承認されたアンケートは、その承認されている旨をアンケート用紙に明記していくべきとの意見があり、承認された。なお、修正された規定については、ホームページの会員ページに掲載していくこととした。

改正点

1. 「主として会員を対象に行う、全国的規模の・・・」を「会員および会員が所属する施設を対象に行う全国規模の・・・」とする。
 2. 「施行の 3 ヶ月前まで委員会に提出し」を「事前に委員会に提出し」とする。
 3. 「日本小児外科学会名（各種委員会調査を含む）で行われるアンケート調査は」を「日本小児外科学会（各種委員会を含む）が行うアンケート調査」とする。
- ・ホームページにサイト内検索機能をつけて、利用しやすいページとすることが提案され、当該機能の追加にかかる費用につき、見積をとることとなった。

(7) 倫理安全委員会報告

菑澤担当理事より、以下の通り報告され、承認された。

- ・第 49 回学術集会時に開催される医療倫理・安全管理講習会の演者について検討中である。
- ・利益相反規定について現在検討中であるが、学会発表時の利益相反自己申告書については、第 49 回学術集会から採用していくところが提案され、承認された。

なお、学会発表時の利益相反自己申告書最終版については、次回理事会にて提出することとなった。

※利益相反自己申告書の対象は、症例報告含む、全ての発表とする。

(8) 小児救急検討委員会報告

松藤担当理事より、以下の通り報告された。

- ・第27回秋季シンポジウムの前日夕方に、特別企画「日本小児外科学会としての東日本大震災に対する支援活動（中間報告）」を開催する。
- ・日本救急医学会小児救急特別委員会企画の小児初期診療 course の開発に支援すべくオブザーバーとして平成23年10月15日のPEACE preliminaryに参加した。
- ・今後の活動として、関連学会、行政への情報の発信と協力、重症小児外傷患者の把握、および小児外科医のためのadvanced PALSについて、検討していくこととした。

(9) データベース委員会

前田担当理事より、以下の通り報告された。

- ・NCD登録手術術式と日本小児外科学会専門医制度手術術式との擦り合わせについて、委員が分担して、11月末までに確認する予定である。
- ・専門医制度に関して、NCD登録データから必要なデータを抽出し、会員管理システムに反映させていく際の処理について現在検討中である。

7) 名誉会員・特別会員の推戴について

各種資料を参考に、候補者につき検討を行った。

また、推戴の基準について見直しを検討するためのワーキンググループを以下のメンバーにて立ち上げることが提案され、承認された。

推戴基準見直し検討ワーキンググループ

グループ長 仁尾正記

メンバー 田口智章、窪田昭男、土岐 彰、橋本 俊、小室広昭

8) 次回定例理事会の日程の確認について

次回理事会は平成23年12月16日（金）11：00～16：00 八重洲ホールにて開催することが確認された。

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____